



令和 7 年度 4 月号

矢中だより

大田区立矢口中学校

HP アドレス <https://www.ota-school.ed.jp/yaguchi-js>

令和 7 年度の始まりに思うこと

校長 鈴木 孝洋

満開の桜が、新年度の始まりまで見事に咲き誇り、春の訪れを実感する毎日です。本校は新入生 151 名を加え、全校生徒 492 名で令和 7 年度をスタートしました。スタートに当たり、始業式、入学式で生徒に次のようなメッセージを伝えました。

始業式では「今」を大切に、精一杯努力する一年にしましょうと、話をしました。「今」この一瞬一瞬の積み重ねが皆さんの未来につながります。自分自身の思い描く未来に近づいていくためには、「今」を大切にすることが大切です。「今」何をすべきなのか、自分にとって、周りの人にとって必要なことは何なのかと、想像力を働かせ、精一杯生活していきましょう。その結果、皆さん全員が過ごしやすい矢中での中学校生活を送ることができ、一人一人が大きく成長していくはずです。

入学式では、新入生の皆さんに、1 年生は「見る学年」であることを話しました。中学校生活がいよいよ始まる中、様々な思いでいることでしょう。まずは、しっかりと先輩たちの姿、中学校生活をしっかりと見ることから始めてください。2 年生は「見られる学年」、3 年生は「見せる（魅せる）学年」として、新入生の皆さんの少し前を歩んでいます。自主自律を大切にし、自分で考え、判断することの大切さを教えてくれるはずです。

矢口中学校の教職員は全員で生徒の皆さんをサポートします。そのサポートを最大限に生かすためにも、前向きに行動してほしいと思います。いつでも自分が決意し、行動することで未来は変わります。新しくスタートする節目の時です。自分の思い描く未来のための一歩を踏み出しましょう。

矢口中学校の教育目標

人間尊重の精神を教育の基本におき、人間性豊かで、民主的な社会を担うことのできる人間を育成するために、次の目標を定める。

気づき、考え、行動できる生徒を育てる。

○学ぶ人

○思いやる人

○鍛える人

○はばたく人

矢口中学校の目指す学校像

「笑顔があふれ、毎日通いたいと思える学校」

○信頼される学校

○通いたい、通わせたい、勤務したい学校

○生徒、保護者、地域が誇りとする学校

～ 保護者の皆様へ ～

矢口中学校は教職員一同、一丸となって生徒の育成に全力で取り組んでまいります。中学生時代は、心身ともに子どもから大人へと成長する難しい時期ではありますが、学校と家庭、地域の三者が「子どもたちのより良い成長のため」という共通の願いをもって、連携していくことが大切です。ご理解とご協力をお願いいたします。

矢口中学校の3年間

中学生です
先輩方の姿を
よく見よう

1年

「見る学年」

中堅学年です
1年生が
見えています

2年

「見られる学年」

最上級生です
後輩に見本の姿
を見せよう

3年

「見せる学年」

「魅せる学年」

として卒業を・・・

教職員の異動

「転出等」

「転入等」

大変お世話になりました

よろしくお願いします